

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が656例(男性341例(10歳代18例, 20歳代85例, 30歳代54例, 40歳代61例, 50歳代55例, 60歳代26例, 70歳代23例, 80歳代8例, 90歳代3例, 年齢非公開8例), 女性290例(10歳代27例, 20歳代66例, 30歳代32例, 40歳代48例, 50歳代37例, 60歳代17例, 70歳代29例, 80歳代22例, 90歳代4例, 100歳以上1例, 年齢非公開7例), 性別及び年齢非公開25例)あり, 本年の累積報告数は6,625例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **レジオネラ症**(肺炎型)の報告が1例(90歳代男性)あり, 症状は発熱, 肺炎です。感染地域は国内です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が2例(10歳代男性及び30歳代女性)ありました。本年の累積報告数は20例となりました。
- ・ **RSウイルス感染症**は, 本市の定点当たり報告数は1.21, 全国は前週から微増して1.00で, 本市は第13週から, 全国は第8週から過去5年平均値を上回っています。現在, 日本各地で局地的に多く報告されており, 上位3県は山口(4.40)石川(3.90), 奈良(3.44)で, その周辺の大阪府, 富山県でも2を超過しています。京都市では流行している状態ではありませんが, 近隣府県でも増加していることから, 今後の発生動向に注意が必要です。
- ・ **水痘**の定点当たり報告数が0.26(11例)となり, 今年初めて過去5年平均値を上回りました。特に伏見区(1.00)を中心に南部で報告されていることから, 局所的に増加している可能性があります。例年, この時期に流行することは稀ですが, 今後の発生動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第19週, 本市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下, 陽性者)が656例報告され, 本年の累計陽性者数は6,625例になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 1例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 2例)
【1月以降の累積報告数 89例(肺結核 32例, その他結核 33例, 潜在性結核感染者 24例)うち喀痰塗抹陽性 12例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 656例**【1月以降の累積報告数 6,625例】
- ・ 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 20例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

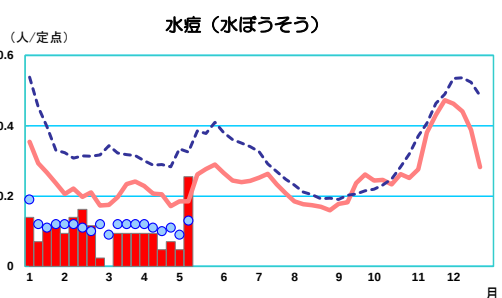
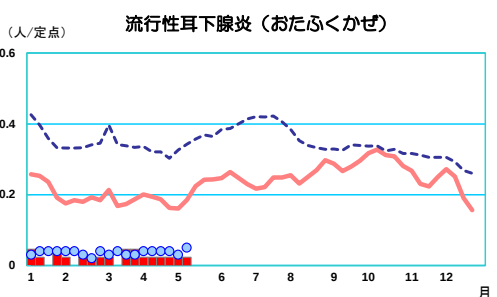
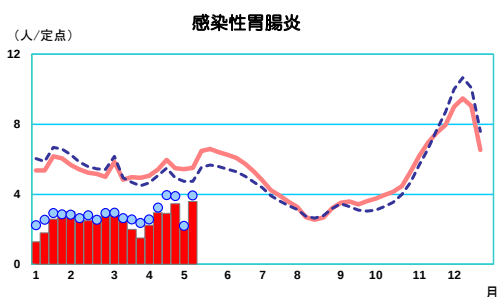
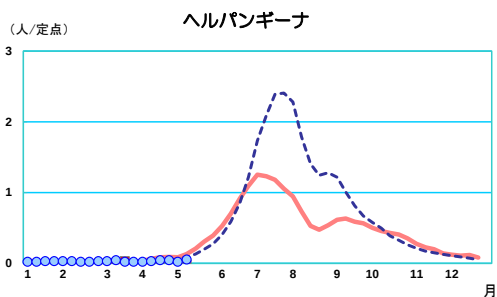
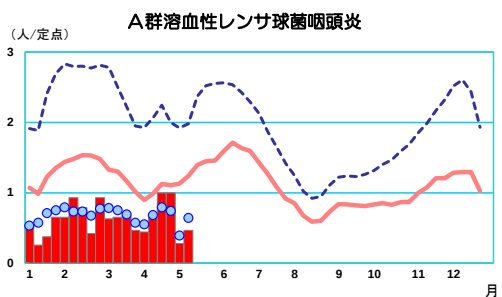
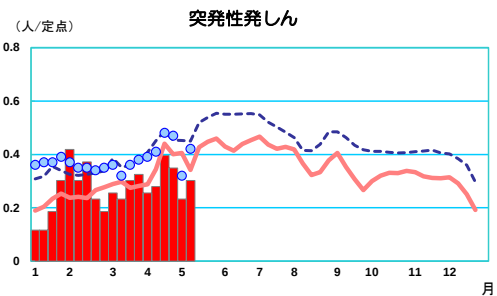
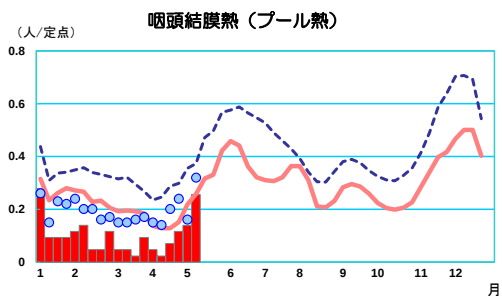
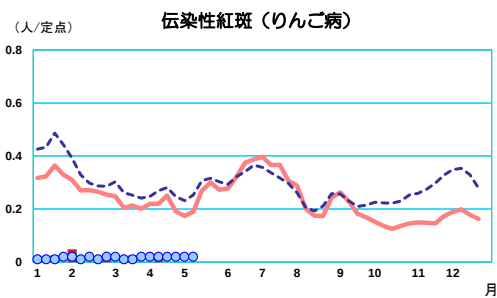
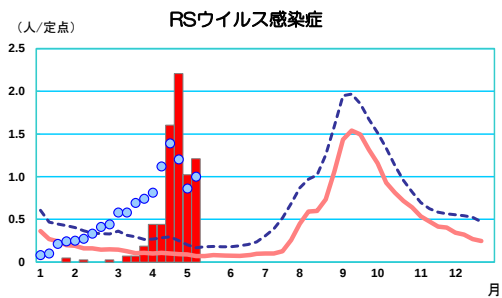
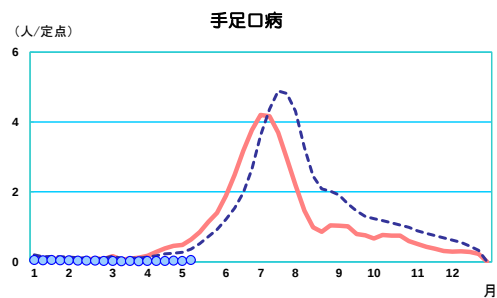
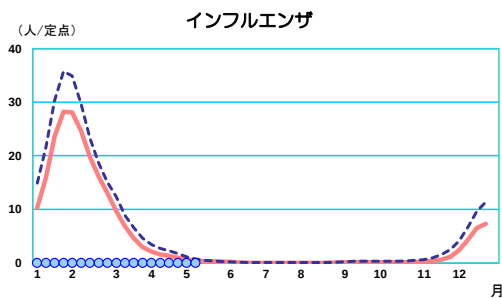
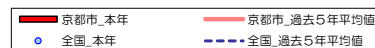
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 58	154
	② RSウイルス感染症	1. 21	52
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 47	20
	④ 突発性発しん	0. 30	13
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 26	11
	⑤ 水痘	0. 26	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

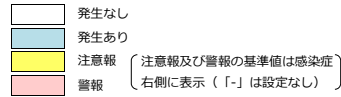
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年5月19日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

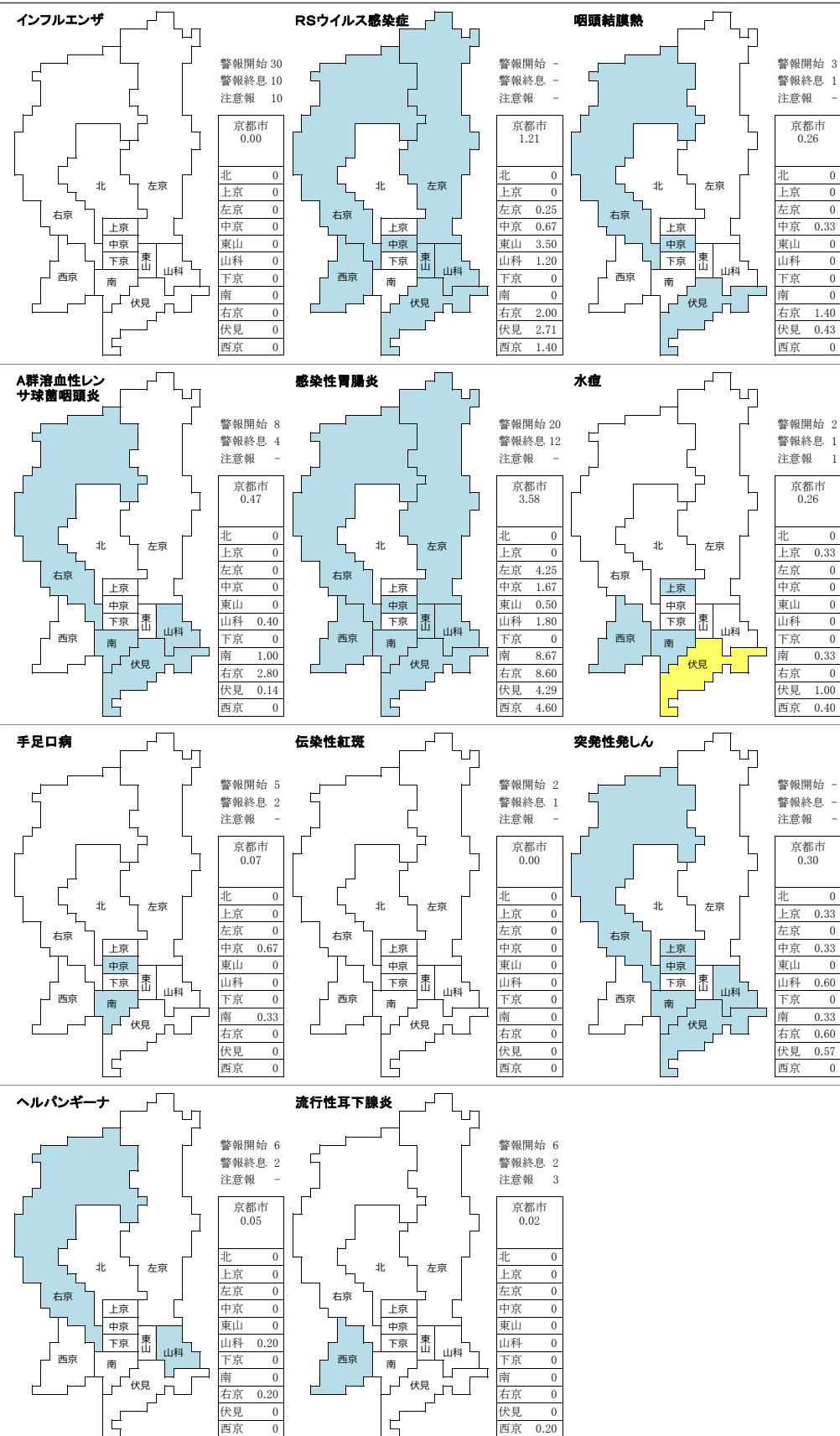
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第19週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第19週(5月10日～5月16日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第19週、本市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下、陽性者)が656例報告され、本年の累計陽性者数は6,625例になりました。

また、京都市の新規陽性者の人口10万人当たりの週移動平均の推移を見ると、現在はこれまでで最も高い状態となっており、全国と同様に横ばいから増加の傾向が続いています(図1)。

令和3年5月19日の第35回アドバイザリーボード(医療・公衆衛生分野の専門的・技術的な事項について、厚生労働省に対し必要な助言等を行う定期会議)の公開資料によると、スクリーニング検査において英国で検出された変異株(B.1.1.7^{*1})の割合が週を追うごとに増加し、第18週では京都府で8割を超え、全国でも8割にせまる水準となり、従来株からほぼ置き換わったと推定されています(図2)。*1:新型コロナウイルスに関して世界共通の系統分類方法であるPangolinによる分類系統IDによる分類系統名

新型コロナウイルス感染症の原因となるSARS-CoV-2のゲノムは、RNAウイルスです。一般的にRNAウイルスのゲノム複製は、複製ミスを修正する機能を持たないRNAポリメラーゼがつかさどり、読み取りミスが多く発生し変異速度が速くなります。しかし、新型コロナウイルスのRNAポリメラーゼは校正機能を有しており、変異速度は遅い方に分類されています。世界各地の患者のゲノム情報が登録されているGISAIDの2019年12月～2021年3月の集計で推定すると、23.8塩基変異/ゲノム/年となります。この変異速度は、季節性インフルエンザの半分程度、ゲノム安定性とワクチンの予防効果が高いRNAウイルスとして知られている麻疹ウイルスと同程度となります。

しかし、世界的な感染拡大に伴い地域ごとに異なる変異が検出されてきました。いわゆる英国型変異株のB.1.1.7系統では17カ所、南アフリカ型変異株のB.1.351系統で21カ所、ブラジル型変異株のP.1系統で21カ所の変異が認められています。

国立感染症研究所では、変異によるリスクを分析し、その評価に応じて、変異株を「懸念される変異株(VOC)」と「注目すべき変異株(VOI)」に分類しています。VOCとしては、感染性を増加させるN501Y変異を共通して有するB.1.1.7系統、B.1.351系統、P.1系統及びP.3系統が分類されています。そのため監視を強化するためN501Yを検知するスクリーニング検査が行われています。また、5月12日にはインドで猛威をふるい、感染性・重篤度の増加が危惧されるB.1.617系統が新たにVOCに分類されました。

なお、B.1.617系統は、N501Y変異を有しないため上記のスクリーニング検査では検知されません。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>



図1 COVID-19新規陽性者数の推移(週移動平均)(ホームページデータを基に作成)

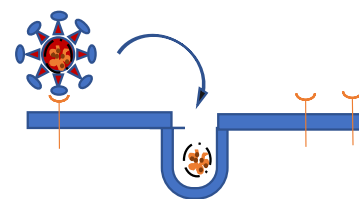
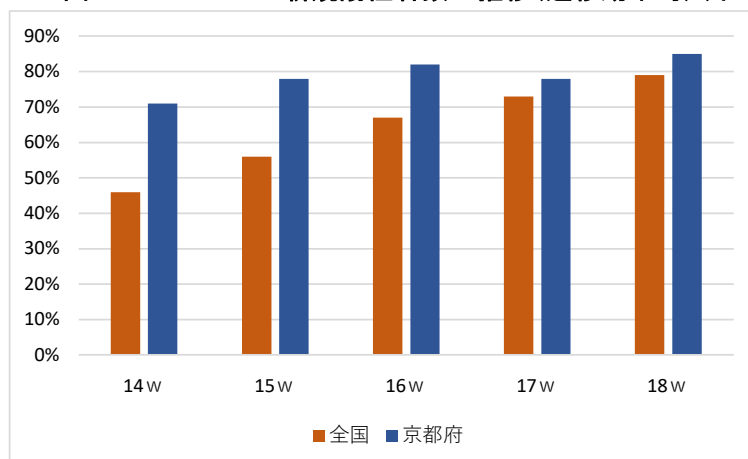


図2 変異株のスクリーニング検査の陽性率(陽性数/実施数)の週別推移

第35回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和3年5月19日)配布資料より引用

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第19週

疾病,行政区別報告数

2021年5月10日～2021年5月16日

データ入手日:2021年5月19日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-					
左京	-	1	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	2	1	-	5	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
山科	-	6	-	2	9	-	-	-	3	1	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	3	26	1	1	-	1	-	-							
右京	-	10	7	14	43	-	-	-	3	1	-	-	1					
伏見	-	19	3	1	30	7	-	-	4	-	-	-	-					
西京	-	7	-	-	23	2	-	-	-	-	1	-	-					
京都市計	-	52	11	20	154	11	3	-	13	2	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	0.25	-	-	4.25	-	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	0.67	0.33	-	1.67	-	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	1.20	-	0.40	1.80	-	-	-	0.60	0.20	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	1.00	8.67	0.33	0.33	-	0.33	-	-							
右京	-	2.00	1.40	2.80	8.60	-	-	-	0.60	0.20	-	-	1.00					
伏見	-	2.71	0.43	0.14	4.29	1.00	-	-	0.57	-	-	-	-					
西京	-	1.40	-	-	4.60	0.40	-	-	-	-	0.20	-	-					
京都市計	-	1.21	0.26	0.47	3.58	0.26	0.07	-	0.30	0.05	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第19週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年5月10日～2021年5月16日

データ入手日:2021年5月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上	65歳－	70歳以上				
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	52	7	10	19	9	6	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽 頭 結 膜 熱		11	－	4	5	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	－	3	6	5	1	－	－	1	1	－	－	2	－	1	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎		154	1	14	13	25	19	16	15	5	8	1	2	13	1	21	－	－	－	－	－	－
水 痘		11	2	1	1	2	－	1	1	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
手 足 口 病		3	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん		13	－	5	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ		2	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	1.21	0.16	0.23	0.44	0.21	0.14	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.26	－	0.09	0.12	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.47	－	0.07	0.14	0.12	0.02	－	－	0.02	0.02	－	－	0.05	－	0.02						
感染性胃腸炎		3.58	0.02	0.33	0.30	0.58	0.44	0.37	0.35	0.12	0.19	0.02	0.05	0.30	0.02	0.49						
水 痘		0.26	0.05	0.02	0.02	0.05	－	0.02	0.02	－	－	0.05	0.02	－	－	－						
手 足 口 病		0.07	－	－	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.30	－	0.12	0.19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.05	－	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第19週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年5月19日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		19	19	69	95	44	52
咽 頭 結 膜 熱		2	1	3	5	6	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	28	43	43	12	20
感染性胃腸炎		96	127	125	149	89	154
水 痘		4	4	2	3	2	11
手 足 口 病		－	－	2	－	1	3
伝 染 性 紅 斑		－	1	－	－	－	－
突発性発しん		11	12	17	15	10	13
ヘルパンギーナ		2	2	3	－	1	2
流行性耳下腺炎		1	1	1	1	1	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		2	1	－	3	－	1
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		156	196	265	314	166	268

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		0.44	0.44	1.60	2.21	1.02	1.21
咽 頭 結 膜 熱		0.05	0.02	0.07	0.12	0.14	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	0.65	1.00	1.00	0.28	0.47
感染性胃腸炎		2.23	2.95	2.91	3.47	2.07	3.58
水 痘		0.09	0.09	0.05	0.07	0.05	0.26
手 足 口 病		－	－	0.05	－	0.02	0.07
伝 染 性 紅 斑		－	0.02	－	－	－	－
突発性発しん		0.26	0.28	0.40	0.35	0.23	0.30
ヘルパンギーナ		0.05	0.05	0.07	－	0.02	0.05
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.20	0.10	－	0.30	－	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		3.78	4.63	6.16	7.53	3.86	6.31

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。